

陸軍 大隊

所在地	沖繩島	職官	陸軍中尉
所屬部隊	石三五九二部隊	氏名	[Redacted]
支那事變以降の経歴 自己略す	昭和十九年二月十五日 石三五九二部隊通信將校として理地召集 同年四月二十日 河南作戦に参加 同作戦終了後 沖縄本島に転進し 引續き同職務に服す		
所屬部隊 編成年月日 及編成裝備 概要	昭和十八年六月八日 独混第四旅独立歩兵第十一大隊より 石三五九二部隊に編成す 編成時 本部 歩兵五中隊、機関銃一中隊、歩兵砲一中隊、 裝備 概ね良		
経歴 戦中 戦後 所属部隊 経過概要	四月一日 米軍上陸以来 中頭郡上原地区に在りて交戦 四月二十日 前田線に転進 五月十二日 前田線に転進し 前田線に於て兵力を失す 同日 首里に転進 五月二十七日 前田線に歩兵第十大隊を指揮すに入り 山川に転進し 九日 大城 更に三十日 米軍に転進し 六月十八日 前田線に於て兵力を失す		
終戦(又ハ主力) (戦斗終了) 後、状況	六月十五日 軍司令部解散と同時に 残存者は 回頭突戦、命を度す 各個に転進し 夫々連絡を絶つ。 各洞窟内に少くも数名残存せり 者ハ逐次終戦後收容せられたリ 七月三十日 米軍ハタイ型ニ上船、一月七日 浦賀着、輸送状況ハ 良好ナリ		
帰郷(又ハ 連絡)先	[Redacted]		
其他参考 事項	T. ✓		

20

關東上陸地支局 昭和二十一年三月二十八日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(部隊固有名)

獨立步兵第十大隊

職官 陸軍中尉

終戦時ノモノヲ記ス

全右所在地

神奈川中頭郡西原村

氏名 [Redacted]

職ノ變更及主ナル參加戰關名ヲ記ス

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

大倉大佐作戰 河南作戰ニ少隊長トシテ參加 沖繩作戰

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

第六師團第六旅團獨立步兵第十大隊 昭和大正六年六月二十七日編成 丙裝備 獨立混成第四旅團要隊 昭和十三年五月編成

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

所屬部隊作戰經過ノ概要

沖繩作戰經過概要 三年四月初旬 沖繩本島東海岸 西原地区 防衛戰 中 下旬 首里 中地(浦添村) 育下 島尻

終戦(又ハ主力ノ戰闘終了)後ノ概況

終戦後 國頭方面 空襲 爲 米國軍陣地ヲ通過 中 弁見セラレ 米軍沖繩第一隊 收容所ニ收容セル 米軍野戰病院 ↓

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

先 歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事項

[Redacted]

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和 年 月 日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名)	職官	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
全右所在地	職官	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	職官	氏名	職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	職官	氏名	職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス
所屬部隊作戰經 過ノ概要	職官	氏名	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況	職官	氏名	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	職官	氏名	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
其ノ他ノ參考事 項	職官	氏名	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
備考	職官	氏名	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス

第六師團獨立歩兵第十大隊

職官 第六師團獨立歩兵第十大隊

沖繩縣中野郡西布村

職官 第六師團獨立歩兵第十大隊

昭和十七年十月三日西野第十師團(能)に入隊... 昭和十八年六月二十七日編成西野備

一、第六師團第十大隊... 昭和十八年六月二十七日編成西野備

神龍部隊... 昭和十八年六月二十七日編成西野備

中野... 昭和十八年六月二十七日編成西野備

歸郷後... 昭和十八年六月二十七日編成西野備

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス